

☆中国

繊維景況

2013年の繊維業界見通し

3月7日、中国経済網の主催により「繊維産業の競争における新たな優位性の再構築」というシンポジウムが開催された。本シンポジウムには、中国紡織工業連合会の孫氏が出席、中国繊維産業の現状と見通しについて以下の通り語った。

2012年の中国の繊維業界は厳しい1年であったが、他の業種と比較すると、主要な経済指標はまだ良かった。2013年の繊維業界は、前年よりは改善するものの、依然として多くのマイナス要因が存在、特に綿花の内外価格差、コスト上昇などの問題に注意が必要である。

2012年、中国の繊維業界は、輸出低迷、綿花の内外価格差の拡大、企業の生産コスト上昇、国内販売の伸び鈍化などの影響から厳しい年になった。特に2012年1～3四半期の経済成長は著しく減速、第4四半期になってようやく上向きになり始めた。その結果、年間で規模以上工業生産高は12%増にとどまった。

2013年の繊維業界について、2012年よりは良くなる。国内のマクロ経済環境の改善、党主要幹部の交替、中央経済工作会議の開催などのほか、当面は、国内需要の下支えによって状況は昨年より改善する。同時に、引続き海外経済の成長は国内経済を下回り、綿花の内外価格差は存在、その差が縮小される傾向にはない。さらに、人件費、環境コストなど企業のコストは上昇する。こうしたことから、2013年の繊維業界は、前半は上昇、後半は下落傾向を辿ると予想する。前半に上昇するのは、前年上半期の下落がベースとなっていること、後半の下落は、2012年下半期に景気が上向きになったことが要因であり、全体的には堅調な上昇傾向が続くとみている。

☆ベトナム

繊維業況

繊維輸出 38%増-2013年1-2月

ベトナム統計局によると、2013年1-2月のベトナムの繊維品輸出は前年同期比38.4%増の28.4億ドルとなった。2012年年間の7.1%増からは回復傾向がみられている。

一方、2013年1-2月の主な繊維品輸入額は、綿花は前年同期比18.4%増の1.5億ドル、糸類は5.0%減の2.0億ドル、織物類は20.8%増の10.2億ドルであった。なお、綿花の数量ベースでの輸入は50.9%増の7.7万トであった。

ベトナムの繊維品貿易

(100万^{ドル}、%)

	2013年1-2月	前年同期比
繊維品輸出	2,840	38.4
繊維品輸入		
綿花	145	18.4
糸類	201	-5.0
織物類	1,022	20.8

2013年1-2月の主要な繊維品生産をみると、織物類は、綿製が前年同期比5.2%減、化合繊維製が13.1%減とともに減少となった。衣類生産は前年比0.7%増3.7億点となった。

ベトナムの主要繊維品生産

(%)

品目	単位	2013年1-2月	前年同期比
綿織物類	100万 ^{m²}	43.6	-5.2
化合繊維物類	100万 ^{m²}	122.7	-13.1
衣類	100万点	367.7	0.7

★ド イ ツ

企業買収

Glatfelter、壁紙メーカーを買収へ

Glatfelterはこのほど、独・Dresden PapierをFortress Paper Ltd.から1.6億ユーロ(2.09億^{ドル})で買収することで正式合意した。

Dresden Papierは、独・Heidenauにある不織布壁紙原材料のメーカーで、供給先には世界の大多数の大手壁紙メーカーが含まれる。

不織布製壁紙は、優れた性能と、乾燥時の剥離性、高い引裂き抵抗力、水濡れに対する無捲縮・無伸縮性といった特性を持つ。結果的に、不織布はヨーロッパで、壁紙提供者やデザイナーから好まれる傾向にあり、アジア市場でも今後の成長が期待される分野である。

Glatfelterによると、今回の買収を消費財、工業用製品の分野への拡大への足掛かりとして、特殊紙及び繊維をベースとした建築素材というニッチ市場でリーダー的ポジションを築くことが狙い。成長率は最低でも10%を見込む。また、ロシア・中国などの巨大市場や東欧やアジアの発展途上国等へ拡大成長するための経営上のテコ入れの目的もあるという。

2012年のDresden Papierの利益は1.17億ユーロ(1.51億^{ドル})、EBITDAは3億ユーロ(3.8億^{ドル})。最新設備のHeidenau工場(年産6万^ト)では

146 人が就業中である。

買収は 2013 年第 2 四半期に終了する予定。買収後のビジネスは Glatfelter の複合材事業に組み込まれ、成長するニッチ市場、例えば、紅茶・コーヒー用のフィルター、金属加工紙、複合材ラミネート、特殊技術用途に繊維製品を提供することになる。

以上